



## 舊露帝の死所へ スター・リン轉都するか モスコウ首都は近く撤退

モスコウ首領は近づく撤退

【東京十五日同盟】獨蘇開戦以來獨軍の近撃は北に南に着々進みソ聯政府は早やくも政府一部及び外交人一部はモスコウ撤退相處をとりウラル山脈東側のスウェーデルスクに移すだらうと報じられてる。右情報は未だソ聯側により裏つけられたものではないが、英ソ同盟成立し愈々長期抗戦の壯をきめてスター・リンの策戦としてモスコウ撤退による新陣容整備は考へる處である。この問題に就て外交消息の見解を総合するの通りである。

スター・リンがスウェーデルスクを記念と云ふ間に移すだらうと言ふ事は可ならず此の地に其名をつけられたり前から言はれてたもので、た、地勢の如く此の地はスウェーデルスクの持つ歴史的、地理的事情に基づくものである。歴史的原因は鐵道は北と南の支線にわかれ、モスコウに入るモスコウ河谷利三郎伊波洋輔の要點である。モスコウは最近では四重工業地帯のウラル山系移転方の一の場合を考慮してウラル山脈の重工業を近畿方面へ移すではないかと見え、年ドンドン、スウェーデルスクはを中心とするウラル地帯では四十万を突破してゐる。以上これが敢えき最後が達した途に後退を考慮してある。其後革命の同志スティーリン線はモスコウの重工業を近畿方面へ移すと言はれてゐる。以後都を移すとは言はれてゐる。以下

【モスコウ十四日同盟】獨蘇は、又一般国民の義勇軍志願者はモスコウの東方一千キロのモスコウの地でウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上歐亞の境をなす處ではエカーティンブルグといはれた、か獨イの包囲電撃戦を避けて赤軍が中央分子を擰めて此の地に移すのでウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上

【モスコウ十四日同盟】獨蘇は、又一般国民の義勇軍志願者はモスコウの東方一千キロのモスコウの地でウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上

【モスコウ十四日同盟】獨蘇は、又一般国民の義勇軍志願者はモスコウの東方一千キロのモスコウの地でウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上

【モスコウ十四日同盟】獨蘇は、又一般国民の義勇軍志願者はモスコウの東方一千キロのモスコウの地でウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上

【モスコウ十四日同盟】獨蘇は、又一般国民の義勇軍志願者はモスコウの東方一千キロのモスコウの地でウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上

【モスコウ十四日同盟】獨蘇は、又一般国民の義勇軍志願者はモスコウの東方一千キロのモスコウの地でウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上

【モスコウ十四日同盟】獨蘇は、又一般国民の義勇軍志願者はモスコウの東方一千キロのモスコウの地でウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上

【モスコウ十四日同盟】獨蘇は、又一般国民の義勇軍志願者はモスコウの東方一千キロのモスコウの地でウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上

【モスコウ十四日同盟】獨蘇は、又一般国民の義勇軍志願者はモスコウの東方一千キロのモスコウの地でウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上

【モスコウ十四日同盟】獨蘇は、又一般国民の義勇軍志願者はモスコウの東方一千キロのモスコウの地でウラル山脈の東側にあり五十万を突破してゐる。以上

聖市コンデ・デサンジヨ  
キン街三番五  
発行人 香山露子  
購読料 一年四十銭  
告料 一段七二針  
NOTICIAS DE SAO PAULO  
Caixa 2765 - Fon 7-9447  
R. Conde de S. Joaquim, 3  
Sao Paulo - Brasil

の八要綱が出そろひ既に實践

の過程に入つた。

経済新體制確立要綱に就いて

は重要産業統制會の設立

の總動員法發動によるもの

を速進すると共に法的背景の

実施を急ぎ又財政金融新體制

に就ては新法令による可きも

閣議は首相官邸に開催、近衛

閣議は以下各閣僚に開催、近衛

閣議は以下各閣僚に開催、近衛</p





